HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館報「楡蔭」133号
Issue Date	2009-11-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/66253
Type	journal
File Information	yuin133.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

ISSN 0917-3684

Hokkaido University Library Bulletin No.133 Nov.2009

楡蔭

Yuin 北海道大学附属図書館報

目　次

図書館の統計をよむ
附属図書館事務部長　藏野由美子…… 1
お知らせ
・デューク大学図書館のトゥルーストさんが附属図書館北方資料室を訪問…… 7
・北海道大学附属図書館講演会を開催…… 8
・学生との座談会を開催…… 9
・北図書館の視聴覚機器を更新しました……11
・2009北海道大学オープンキャンパスを実施しました……12
・経済学研究科・経済学部図書室がリニューアルされました……13
・医学部図書館の改修について……13
・工学研究科・工学部中央図書室のリニューアル……14
・来館日誌（平成21年7月～9月）……15
・平成21年度附属図書館インターンシップ（図書館実習）について……15
教員著作寄贈図書……16
学術成果コレクション（HUSCAP）寄贈文献（平成21年６月18日～９月30日）……17
HUSCAP 300万回ダウンロード突破！……17
平成21年度特別図書購入費による購入資料（１）18
会議（平成21年７月17日～10月31日）……26
各委員会等について……26
人事往来（平成21年７月17日～10月31日）……26
図書館日誌（平成21年７月17日～10月16日）……27

図書館の統計をよむ

附属図書館事務部長　**藏野　由美子**

１．はじめに

本年４月に本学附属図書館に着任し，先ず確認したかったのは，学生用図書費は十分なのか，貸出は伸びているのか，図書館は学生の役に立っているのか，ということでした。

入館者数と貸出冊数については，本誌の前号で，北図書館担当の結城さんの報告にあるとおり，この10年間に，本館の入館者数はほぼ横ばい，貸出は1.4倍に，北図書館は入館者数，貸出ともに２倍を超す伸びを示しています。

一方，学生用図書費は，本館で1.8倍，北図書館で2.1倍と増額してきました。学生用図書の充実は，平成12年度に学内共通経費による学生用図書収集整備計画が認められたこと，16年度の法人化以降は，毎年の事業計画に本館，北図書館でそれぞれ6,000冊の新刊書購入を掲げ，

総予算が減となっても，学生用図書費は確保してきたこと，等によります。さらに目的積立金の活用により，20年度には北図書館の学生用図書を重点的に整備，今年度は本館，北図書館，両館の整備を進めています。

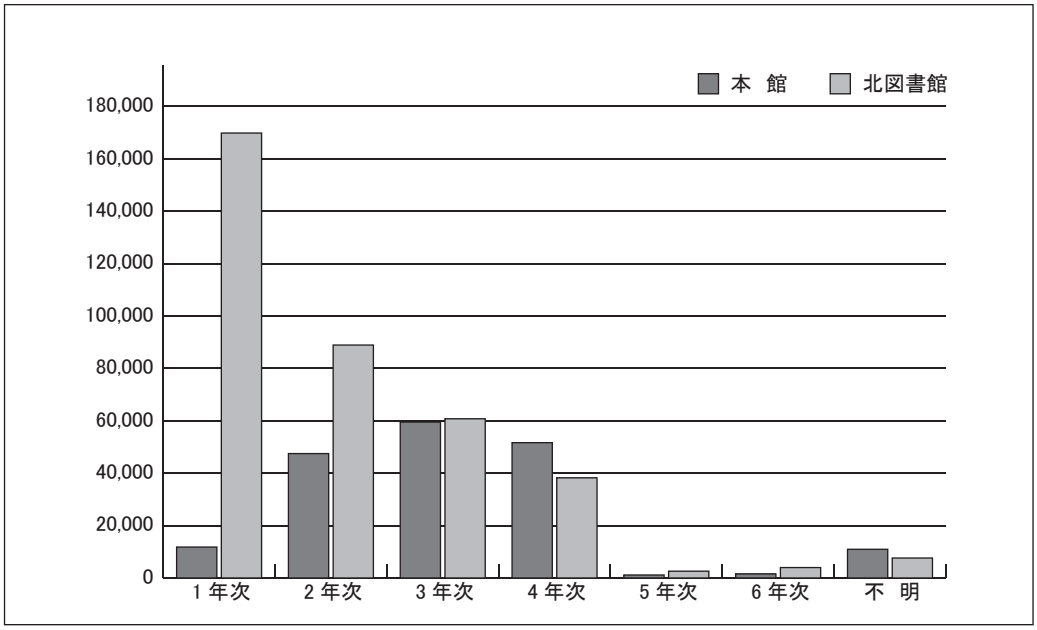
前述のとおり，図書館の利用は大幅に伸びてきましたが，学生は北図書館と本館をどのように使い分けているのか，図書館に来る目的は何なのか，本館と北図書館はその機能をどのように分担すべきなのか，そのヒントを求めて，図書館の利用統計を探ってみました。今回は，本館と北図書館の開架図書について，平成20年度の学部学生の利用状況を見てみました。データの抽出は利用支援課の磯本善男が担当しました。

2．本館，北図書館のどちらを利用？

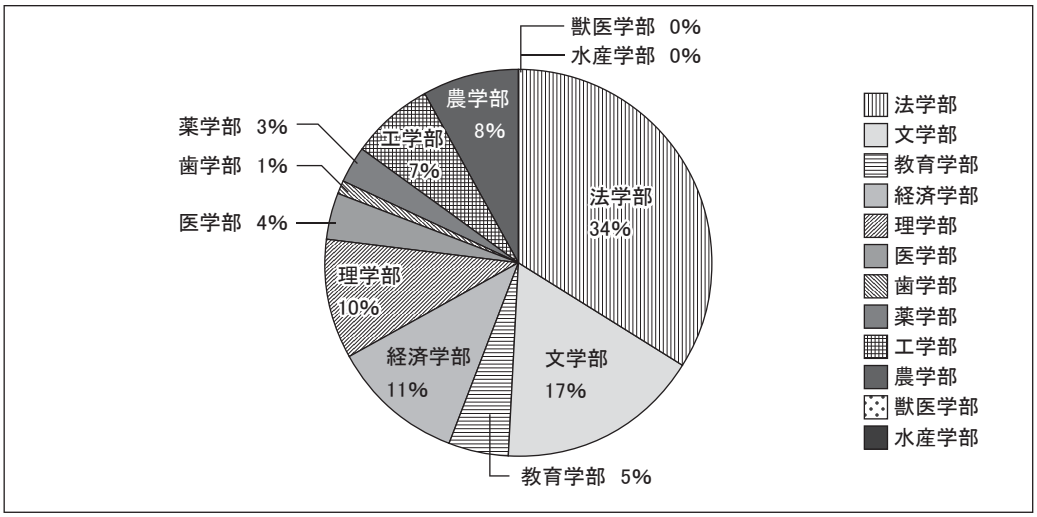
学部学生の本館，北図書館開架閲覧室への入室者数は図１のとおりです。これから判ることは，１年次は専ら北図書館を使い，本館を使うのは２年次からですが，３年次以降は北図書館，本館はほぼ近い数字です。

そこで，３年次に限って，本館，北図書館の学部別の入館者数をみたのが図２，３です。本館は，法学部，文学部，教育学部，経済学部の４学部で67％を占めますが，北図書館ではこの４学部は19％にすぎません。このことは，次のような状況によるものと考えられます。歴史的には，昭和50年以降，法学部，経済学部，教育学部等の図書館機能を本館に統合してきました。一方，北図書館は元は教養分館で，言語文化部，高等教育機能開発総合センター等の図書館機能を北図書館に統合しました。また地理的には，法，文，教育，経済の建物は，本館と渡廊下で繋がっており，北図書館は，高等教育機能開発総合センターや情報教育館と繋がり，工学部とは隣接しています。工学部に次いで北図書館の利用が多い医学部は北図書館に近いものの，理学部は本館の方が近い位置にあります。

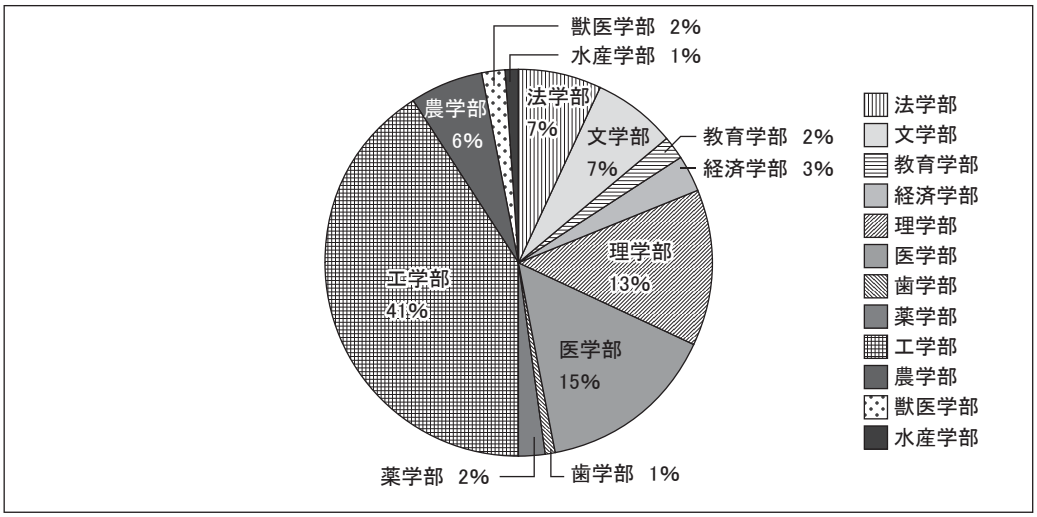
■図１：学部学生の開架図書室入室者数（年次別）



■図 2：本館開架図書室入室者（学部 3 年次）



■図 3：北図書館開架図書室入室者（学部 3 年次）



3．図書館の利用目的は？

以上は，学部学生の図書館の入館状況です。では，学生は何が目的で図書館を利用しているのかも気になります。図書や雑誌の利用のため，学習の場所として，あるいはネットワーク端末，マルチメディア，グループ学習室等の利用，レファレンスや文献複写のサービス，と様々な利用があり，いずれも図書館の重要な機能ですが，やはり図書，雑誌が充実しているから図書館に来る，そうあって欲しいと思っています。

利用統計から来館目的を探ることはできないため，学部学生が来館時に貸出をしたかどうかを調べたのが表 1 です。本館は年間で 184 , 090 名の学部学生が入館し，その内，18. 6%が貸出をしています。一方，北図書館は 371 , 917名が入館し，13. 0%が貸出をしています。

北図書館で，貸出の率が低いのは，開架閲覧室と繋がったマルチメディア公開利用室で，教育情報システムの端末や，ＤＶＤ，ＣＤ等の視聴覚資料を利用している学生が多いためと考えられます。端末は，全学に配置されていますが北図書館の36台は 1 台当たりのログイン数が最も多く，殆ど空きの無い状態です。北図書館の開架閲覧室入室者総数 452 , 084の内， 206 , 818 人（46%）がマルチメディア公開利用室へも入室している，という実態からも推量されることです。

4．貸出が多い資料は？

本館，北図書館の開架図書の分類別蔵書冊数と貸出冊数（これは，学部生に限定せず総数），そして貸出冊数を所蔵冊数で除した回転率を示したのが表２です。本館では，300台（社会科学），北図書館では，500台（自然科学），600台（技術・応用科学）がよく利用されています。この傾向は，２．で触れたように，学部後期課程では、文系学部の学生は主に本館を，理工系学部の学生は北図書館を利用していることからも肯けます。

この回転率（本館0.83，北図書館0.95）は開架の全蔵書のものですが，新刊書に限定するとその回転率は当然高く，19年度予算で購入した図書の20年度中の回転率は，本館，北図書館，ともに2.8でした。さらに，予算別に見たものが表３です。特に回転率が高い「利用高頻度図書」は貸出や予約が集中している本の複本を整備しているものです。「学生希望図書」は，希望した当人だけでなく広く利用されていることが判ります。「シラバス掲載講義指定図書」は，平成12年度の学生用図書収集整備計画において，その強化が必要であるとされ，基本的に本館と，北図書館それぞれに１冊ずつ整備しているものです。

■表１：学部学生の開架入室者数と貸出率

	本　館		北図書館	
	入館者数	貸出率	入館者数	貸出率
法学部	56,282	13.0	29,909	12.5
文学部	33,229	25.1	33,642	18.0
教育学部	6,840	29.9	8,535	14.6
経済学部	21,205	18.0	25,340	11.2
理学部	17,169	24.0	47,328	17.5
医学部	10,925	12.5	44,706	10.2
歯学部	5,124	12.4	8,692	10.8
薬学部	3,551	15.8	9,426	13.4
工学部	13,989	17.3	107,382	11.2
農学部	13,622	22.9	31,194	14.3
獣医学部	465	25.2	6,666	15.9
水産学部	1,689	17.2	19,097	9.8
総合計	184,090	18.6	371,917	13.0

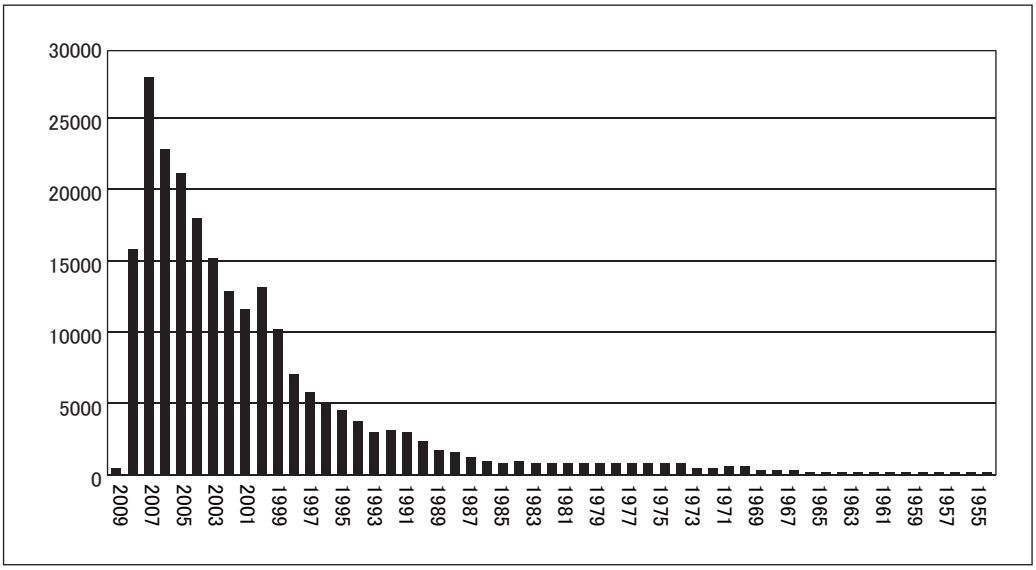
■表２：分類別蔵書構成と回転率

分　類	本　館			北図書館		
	開架冊数	貸出冊数	回転率	開架冊数	貸出冊数	回転率
000　総　記	32,895	30,738	0.93	25,902	33,405	1.29
100　哲　学	5,082	3,855	0.76	5,854	3,708	0.63
200　宗　教	1,493	674	0.45	2,343	892	0.38
300　社会科学	29,330	30,095	1.03	18,920	14,778	0.78
400　言　語	4,432	3,013	0.68	9,838	5,923	0.60
500　自然科学	16,397	16,083	0.98	18,065	32,099	1.78
600　技術（応用科学）	19,036	9,648	0.51	10,020	13,109	1.31
700　芸　術	5,495	2,402	0.44	6,989	3,015	0.43
800　文　学	8,369	6,760	0.81	17,243	10,105	0.59
900　地理・歴史	7,564	4,154	0.55	13,059	5,100	0.39
合　計	130,093	107,422	0.83	128,233	122,134	0.95

■表３：予算別蔵書回転率

平成19年度予算	本　館	北図書館	選定者	選定時
教員選定図書	2.37	2.41	教　員	年１回
シラバス掲載講義指定図書	2.00	2.35		
教員推薦図書	1.98	2.39		随　時
学生希望図書	4.15	5.27	学　生	随　時
図書館選定図書	2.80	3.56	職　員	月１回～年数回
利用高頻度図書	9.83	7.34		
理系基本叢書	―	2.75		
文系基本叢書	―	1.80		

■図４：本館、北図書館開架図書貸出冊数（出版年別）



最後に，図書の出版年と貸出の状況をみたのが図４です。当然，新刊書の貸出が多く，出版年の翌年がピークで，その後５年ほどで半減しています。

５．今後に向けて

以上，本館と北図書館の学部学生の利用状況を概観しましたが，本学に勤務して半年の者にとって，いくつかの発見とともに，今後に向けての課題も見えてきたように思います。

本学は，函館の水産学部以外の全学部・研究科が１キャンパスにまとまった，大変に恵まれた環境にあります。学生は自転車を使って自由に移動しているかに見えますが，図書館の利用には学年の他に，所属学部が大きく反映していることが判りました。

北図書館は全学教育学生（学部学生１，２年次）の学習，教養の涵養をサポートする図書館として，本館は学部学生・大学院生の自学自習，研究，教養をサポートする図書館として認識されています。北図書館の在り方については，平成９年の図書館委員会において議題「北分館の機能及び整備について」が審議されています。そこでは,「①メインの機能として，低学年次学

生を対象とする学習支援機能，②副次的な機能として，北分館周辺諸部局の高学年次学生・院生及び教官を対象とする学習・研究支援機能」とする方向で，一時は統合を前提としていた北図書館の存続が確認されています。そして，現在の「北図書館における図書館資料選定の指針」は，上記①②の機能を反映したものとなっています。図３に示した工学部，医学部の３年次の利用はその現れと思われます。

北図書館は，その存続をかけて機能を検討してきた一方，「附属図書館本館における図書の選定に関する運用指針」では，本館の「機能」に触れた記述はありません。これについては，今後，図書選定小委員会，さらに，図書館委員会で検討いただきたいと考えています。

また，教員選定図書，シラバス掲載講義指定図書は年１回の選定であるため，どうしても新刊書の選定が遅くなります。図書の選定は教員，学生，職員の３者による選定でバランスが取れるもので，常に新刊書に目を配ること，蔵書構成と利用の実態を見ることは職員の重要な職務ですが，この点，本館では上手く機能していません。図書の選定は図書館の基本であり，ある時期，その機能が停滞すると後年，取り返しのつかない事態もあり得ます。引き続き，安定的な図書予算の確保とタイムリーな選書が課題です。

また，学習の場としての機能も重要です。本館は新営棟の建設と耐震改修を控えています。北図書館も，さらに利用される図書館を目指して改修プランをまとめました。12月にはその第１期改修着工の予定です。

今回は，学部学生の開架の利用統計に限りましたが，統計は，図書館の現状を確認し，将来を考える宝の山のようなものです。今年初めて「北海道大学附属図書館年次統計」をまとめ，図書館のホームページにも掲載しました。

本館，北図書館，それぞれが，学生から図書館があったので勉強できたと言われるよう，利用される図書館を目指していきたいと考えています。



デューク大学図書館のトゥルーストさんが附属図書館北方資料室を訪問

８月14日，米国デューク大学パーキンス図書館の国際・地域部門長を務めるクリスティーナ　K. トゥルースト（Kristina K. Troost）さんが附属図書館の北方資料室を訪問されました。トゥルーストさんは，NCC（North American Coordinating Council on Japanese Library Resources：北米日本研究資料調整協議会）の元議長で，日米間の図書館相互貸借（ＩＬＬ）及び，ドキュメント・デリバリー・サービスのプロジェクトに尽力された方です。私的な北海道旅行の半日を北方資料室の見学に充て，本学の沿革資料や北方資料室所蔵の古地図やアイヌ関係資料を熱心に見学されました。



担当の説明を聞くトゥルーストさんと，同志社女子高校で英語教師を務める息女ローナさん



トゥルーストさんを囲んで。右端はかつて日米間のＩＬＬプロジェクトに関わった
笹川郁夫創成研究機構特任准教授

北海道大学附属図書館講演会を開催

平成21年10月16日（金）北海道大学附属図書館大会議室において，平成21年度北海道大学附属図書館講演会を開催し，学内外から72名の参加がありました。

今回は，本学情報法政策学研究センター長の田村善之教授に，『デジタル化時代の著作権法制度～日本の著作権法の動向とその将来像～』と題して講演をいただきました。

田村先生には，去る４月28日に開催した北海道大学学術成果コレクションHUSCAP講演会において，「他人の著作物を含んだ論文等はどこまでネット公開できるのか？－現代著作権法の限界と課題」をテーマに講演をいただきました。近年における電子化された学術情報と著作権との関係への関心の高さを反映して大変な盛況で，参加者からは講演会の続編を開催して欲しい旨の要望が数多く寄せられたことから，このたび附属図書館講演会として，再び田村先生に講演をお願いしたものです。

今回は，日本の著作権法の近時の動向と著作権法の将来像を中心に，豊富な実例等を交えてお話いただきました。会場参加者との質疑応答では実務上抱えている著作権問題等について，活発な質問が出されました。

終わりに司会の逸見図書館長から，電子化された情報の利用に当たっては，法律論も重要だが，同時に利用者各人に高い倫理性が要求されるとの感想が示され，盛況のうちに終了しました。



講演する田村教授



質疑応答の様子

学生との座談会を開催

北図書館長　**宇都宮 輝夫**

北図書館では，８月４日（火）と８月５日（水）の両日，北図書館長と学部学生との懇談会を行った。昼休みの時間を使って昼食を取りながら，学生たちの忌憚のない意見・要望を聞いた。

北図書館の昨年の入館者は54万人にのぼる。職員８名で運営しており，誇ることのできる効率であろうと思う。しかも職員はみな，この54万人に対して可能な限りで最善の学習環境を提供すべく配慮している。私が北分館（現・北図書館）の運営に当たるようになってからも，職員からの提案で改善した点が多々ある。たとえば閲覧机を増設し，狭く使い勝手の悪い机を広く機能性のある机に置き換え，二人掛けの机の間には間仕切りを設置し，グループ学習室の遮音性を高め，館内の空調も大幅に改善された。目立たないが，開架図書の配置も学生の動線を考慮して利用しやすいように変えたし，図書資料の選定方法も全学の教員の協力を得て抜本的に改めた。学生の図書購入希望も，希望を出しやすいように，申し込みのできる場所と方法を多様化し，その結果，購入希望が倍増した。こうした改善点はすべて，職員が絶えず利用者の視点に立って図書館の使い勝手を自己吟味してきた結果である。

しかしながら，相手の視線で見てみるというのには限界があり，所詮はシミュレーションをしているにすぎない。職員はあくまでも勤務をしているのであり，図書館を年間で何百時間も利用し，何百冊もの図書を利用する当事者にはなりきれるものではないからである。しかも利用者は「利用者」というカテゴリーでひとくくりにできるような均質で単一な集団では決してない。彼らの学習・研究生活は，現実にはきわめて多様である。そうした生活の実態まで把握した上で図書館のあり方を考えることは，職員の能力を超える。

こうした限界をわきまえて企画されたのが，今回の学生との懇談会である。利用上の長所と難点は，利用者自身が最もよく感じ，気がついているはずである。図書館側がそれを知るためには，彼ら自身の声をじかに聞くにしくはない。

結果には予想外のことが多々あった。こちらが大きな改善点であったと評価しているいくつかは，評価してもらえていないこと，あるいは気づいてもらえてさえいないことがわかった。これから実現しようと考えている計画にも，共感が得られない点がいくつかあった。たとえば，現在では多くの図書館で計画されているラーニング・コモンズと呼ばれる（飲食などもできる）学習空間については，無駄であるとして一人の共感も得られなかった。委細は以下に譲るが，その他にもこちらの盲点をつくような指摘があり，今後の図書館整備に当たって参考になる懇談であった。言うまでもないが，彼らに喜んでもらえている改善点，共感を得られた改善計画も多々あったことは，付言しておく。

今回の懇談会参加者は，二日間で合計10名にすぎない。学生の多様性を考慮すると，全体の傾向をどれだけ把握し得たか，疑問が残る。なまの声を聞くという試みを蓄積していくほかないであろう。





【学生からの主な意見・要望】（北図書館担当作成）

ご意見･ご要望	現　状	回　答
開館時間を延長してほしい。特に土日の開館時間の延長や24時間開館はできないのか。	授業期(平日)　9:00-22:00 授業期(土日祝)　9:30-19:00 休業期(平日)　9:00-17:00 休業期(土日祝)　9:30-17:00 ※北図書館の休業期間は，全学教育部の休業期間に基づく。ただし，9月はすべて授業期扱い。	開館時間の延長については，これまでに寄せられたご要望を元に，現在の利用状況等を考慮して検討しています。しばらく検討に時間をください。なお，24時間開館は防犯や経費の問題から実現は困難です。また，学部学生が主な利用者である北図書館が24時間開館する必要性はあまりないと考えます。
北図書館の開館時間が本館より短いことがあるが，どうしてか。		北図書館は全学教育部のスケジュールに合わせて決めているのに対し，本館は周辺部局に合わせて決めています。開館時間の延長と共に検討します。
パソコンがいつも混んでいる。	・ELMS端末 36台 ※授業期平日はほぼ満席。 ・利用者用パソコン5台 ※時間帯により満席。	ELMS端末の増設を要望しています。認められれば，4階に増設分を設置する予定です。
夏季，館内が暑い。特に4階が暑い。	平成21年3月の空調機更新に伴い，1～3階は冷房可能。ただし，4階閲覧室とグループ学習室は冷房なし。	グループ学習室については，エアコンの設置を要望しています。また，4階閲覧室に十分なエアコンを設置するためには，大規模な工事と相当の経費が必要で，すぐには対応できません。今後の検討課題とします。
混んでいないときは，閲覧机の仕切り板を取り外したりできないか。	座席の有効利用のため，北図書館の閲覧机に仕切り板を設置。	現在の仕切り板は取り外し可能な構造になっていませんし，座席の有効利用の点からそのような運用も困難です。広い机を利用されたい場合には，4階閲覧室をご利用ください。
英語を学習できる語学教材・視聴覚資料を充実してほしい。	2階マルチメディア公開利用室に視聴覚資料，2階カウンター横に語学教材を設置。	今後も充実に努めていきます。

（次のページに続く）

Discovery Channel, National Geographic, NHK スペシャル等をもっと入れてほしい。	Discovery Channel, National Geographic については購入できる分はほとんど購入済。NHKスペシャルについては，部分的に所蔵。	未揃いの分は，予算を見て選定していきます。
DVD ケースの情報を見ながら，DVD を観賞したい。	DVD ケースと学生証を預かり，館内で DVD を視聴してもらっている。	DVD ケースは学生証の入れものとして使用しています。DVD ケースとディスクを同時に利用できるようにするには，別のケースを用意する必要があります。そのため，利用者から要望があった場合のみ対応します。
図書リクエストを自宅からもできるようにしてほしい。	多くの方に入力してもらえるようにパスワード不要とし，その代わり北大のネットワークに接続されたパソコンからのアクセスに限定。	自宅から図書リクエストをできるようにするためには，パスワード認証方式の入力フォームも用意する必要があります。システム改変には相当の経費が掛かりますので，今後の検討課題とします。

北図書館の視聴覚機器を更新しました

北図書館では，平成20～21年度の２年間を掛けて，２階マルチメディア公開利用室の視聴覚機器（ＡＶブース35席，ＬＬブース７席）をリニューアルしました。

設置から10年近くが経ち，故障が多発していた古い機器を新しい機器に更新しました。同時に，テレビをブラウン管から液晶に換え，利用者と画面との距離を取れるようにしました。また，機器の構成については，利用される頻度を配慮し，ＤＶＤやＣＤをメインに変更しました。

新しくなった北図書館の視聴覚機器をどうぞご利用ください。





2009北海道大学オープンキャンパスを実施しました

今年も「北海道大学オープンキャンパス」が実施されました。８月２日（日）には，高校生だけでなく，その保護者の方，高等学校教員，及び一般市民の方も参加可能な「自由参加プログラム」が各部局等で実施され，附属図書館でも検索体験と館内ツアーのプログラムを実施しました。

附属図書館本館では，「図書館で“検索”を極めろ!!」と題して，参加者は本学の蔵書目録や国会図書館の雑誌記事索引で図書館が設定したキーワードを検索して，図書や雑誌に辿り着くまでを体験しました。また，その後で，希望者については，本館の館内ツアーに参加し，北大の貴重な資料を見学しました。参加者は昨年度に比べ3割増でした。

北図書館でも，「１年生のための図書館！」と題して、利用のメインとなる開架閲覧室や，多数のＤＶＤを備えているマルチメディア公開利用室を案内し，北大蔵書目録のデモンストレーションを実施しました。

【本　　館】
◆内　　容　「**図書館で“検索”を極めろ!!**」
・検索体験　（20分）
・館内ツアー（10分）
◆時　　間　10：00から16：30まで，ほぼ１時間ごと，合計７回実施
◆配布資料　「ＯＰＡＣの使い方」
◆参加者数　142 名　（各回合計，その他自由見学者は72名）

【北図書館】
◆内　　容　「**１年生のための図書館！**」
・館内ツアー（15分）
◆時　　間　10：00から17：00まで，ほぼ30分ごと、合計13回実施
◆配布資料　「北図書館パンフレット」
◆参加者数　23名（各回合計，その他自由見学者は 108 名）

○写真は、本館における館内ツアー、検索体験の風景





経済学研究科・経済学部図書室がリニューアルされました。

「経済」図書室は研究科構成員１,089名（院生 146，学部生 885，教職員58）を主な利用支援対象として受入雑誌１,264種類（内外国 296 ）等を展示・提供しています。年間入室者19,963名（開室日 242 日 ）。館外貸出数１,462冊の利用がある，閲覧座席12席の小さな図書室です（統計数：2009年図書館調査）。

平成19年４月から「管理業務」が附属図書館へ集中化，居住者３名が１名となりました。図書室の約半分は事務スペース，１／４ が閲覧スペース，残りは書架です。日々，冷たい視線（おじさん一人なのに，日当たり・眺めの良い広い所を独占・・）を感じるのは考えすぎ？？　様々な検討の末に部局方針は学生スペース拡充で決着し，10月28日に改装が完了しました（事務スペース縮小は業務統合の最大メリット？）。

入室時に室内が 180 度見渡せて資料配置が一目瞭然です。学生と学生，職員と学生の目線が常時合致しないよう，書架で室内を南北に区分するとともに職員と学生の座席は90度の角度で配置しました。

南側は中央ローンに向かってキャレル３席（視界一杯緑で瞑想も良し）と荷物を机上に置ける４席，北側は主に新聞閲覧用８席を配置。閲覧カウンターからの視界はまるで銭湯の番台のようです（管理・監視するためでなく・・困った様子がある時には即時，利用支援できるように・・・）。

最後に，改装の経費は学生一人当たり１,940円弱で，年間入室者ではワンコイン（ 100 円）でした。

（利用支援課経済学研究科・経済学部図書担当）



北側（雑誌・新聞・PC・VTR）



南側（OPAC専用台・120cm幅閲覧机・キャレル）

医学部図書館の改修について

医学部図書館は耐震改修工事のため一時移転していましたが，工事完了に伴い平成21年９月28日から元の場所に戻り開館しました。

この改修により，１－２階と書庫に配架していた図書・雑誌等の資料をすべて１階に配架し，貸出・複写・閲覧などの図書館機能を１階に集約しました。このため書庫と事務室が改修前と比べ，大変コンパクトとなりました。改修前は５層あった書庫を改修後は１階東側としたため，資料を探すのも１階だけの移動で済むようになり，利用者サービスの向上と業務効率の向上が実現しました。これを可能としたのは，書庫内の書架を以前の固定書架から電動集密書架に変更したためで，これにより，

単位面積当たりの収容冊数を大幅に増やすことができました。

閲覧室には，固定書架に図書と新刊雑誌を配架し，情報検索用パソコンと複写機を置きました。また，書庫には雑誌のバックナンバー等を所蔵しています。

床は通路以外すべてカーペット張りになり落ち着いた雰囲気となりました。

２階には自習室・全学教育用端末室・多目的室などを設け，１階と合わせて充実した学習環境となりました。

（利用支援課医学研究科・医学部・保健科学研究院図書担当）

工学研究科・工学部中央図書室のリニューアル

工学研究科Ｂ２棟耐震改修工事の終了に伴い，工学研究科・工学部中央図書室は平成21年10月13日(火)からＢ２棟１階（Ｂ２−102室）にて開室しました。

改修工事に当って「できるだけオープンに」という基本的な考えに基づいて図書室のあるＢ２棟周辺は設計されました。そのため，外壁側だけでなく改修前は壁だった廊下側にも窓ガラスがつきましたので，開放感のあるつくりとなっている点が新しい図書室の特徴の一つです。そして，改修前に比べて閲覧室は約34㎡広くなりました。

また，新しい閲覧机は一人がけの机になり，雑誌架・書架の配置も工夫しましたので，開放感のある中でも集中して学習できる環境を提供できているのではないかと思います。

平成21年１月の書庫移転から始まりました中央図書室関係の改修工事も今回の閲覧室の工事をもって完了しました。工事期間中は臨時閉室や図書室の一時移転等で利用者の皆様には大変ご不便をおかけしましたが，これからは落ち着いて使っていただけると思います。図書室職員一同皆様のご利用をお待ちしています。

（利用支援課工学研究科・情報科学研究科・工学部図書担当）





来館日誌

No.	来　館　者	来　館　日	時　間	人数	備　考
1	（中国）河北省廃棄物処理研修研修員	7月14日(火)	16:00-16:20	11	図書館見学
2	（大韓民国）高麗大学校師範大学・教育大学院	7月23日(木)	15:00-16:00	4	北方資料室見学
3	（米国）トゥルースト氏 デューク大学図書館国際・地域部門長	8月14日(金)	―	2	北方資料室見学
4	下間文部科学省学生・留学生課長	9月14日(月)	―	1	図書館見学
5	枝文部科学省学生・留学生課長補佐	9月16日(水)	―	1	図書館見学
6	市立函館高等学校	9月25日(金)	13:30-15:30	145	図書館見学
	計			164	

平成21年度附属図書館インターンシップ(図書館実習)について

附属図書館では，他大学からの図書館実習の要請を受けてインターンシップ（図書館実習）を実施しています。平成21年度は８月６日（木）から14日（金）までの（土日を除く）７日間，北海道武蔵女子短期大学２名，藤女子大学２名計４名の実習生を受け入れ実施しました。

図書館実習は，実際の図書館業務を体験し，職業意識を高めることを目的とし，短期間であってもほぼ全業務を体験できるようプログラムを作成しています。附属図書館（本館・北図書館）の各担当が図書館資料の処理の流れに沿い連携して実習を行っています。実習を終えた学生からは「講義で学べない図書館業務や貴重な経験ができた」との感想が多く寄せられました。



教員著作寄贈図書

（平成21年６月18日～平成21年９月30日）

寄贈者（敬称略）	所属部局	寄贈図書	所在
眞野　行生	医学研究科	磁気刺激法の基礎と応用 / 眞野行生, 辻貞俊編集. - 東京 : 医歯薬出版 , 2005.12.	本館・開架・教員著作
大平　具彦	名誉教授	文化を読み直す : 退職記念講演録 / 大平具彦著. - 札幌 : 北海道大学観光学高等研究センター（発行）, 2009.６. -（CATS叢書 ; 第２号）	本館・開架・教員著作 北図書館・開架・一般図書
神保　秀一	理学研究院	ギンツブルク-ランダウ方程式と安定性解析 / 神保秀一, 森田善久著. - 東京 : 岩波書店 , 2009.５. -(岩波数学叢書)	本館・開架・教員著作 北図書館・開架・一般図書
青木麻衣子	国際広報メディア研究科	オーストラリアの言語教育政策 : 多文化主義における「多様性」と「統一性」の揺らぎと共存 / 青木麻衣子著. - 東京: 東信堂 , 2008.12.	本館・開架・教員著作 北図書館・開架・一般図書
玉置　信之	電子科学研究所	電子ペーパーの開発技術. - 普及版. - 東京 : シーエムシー出版 , 2009.１. -(CMCテクニカルライブラリー ; 303 . エレクトロニクスシリーズ)	北図書館・開架・一般図書
		光機能性有機・高分子材料 / 市村國宏編集. - 普及版. - 東京 : シーエムシー出版 , 2007.４. -（CMCテクニカルライブラリー ; 255)	北図書館・開架・一般図書
		機能性超分子 / 緒方直哉, 寺野稔, 由井伸彦監修. - 普及版. - 東京 : シーエムシー出版 , 2003.10. -（CMCテクニカルライブラリー ; 153）	本館・開架・教員著作 北図書館・開架・一般図書
岩間　和人	農学研究院	Agriculture in Hokkaido / Hokkaido University. - 2nd ed. - Sapporo : Laboratory of Crops Science, Research Faculty of Agriculture, Hokkaido University , 2009.	本館・開架・教員著作
眞壁　仁	法学研究科	平和の政治思想史 / 千葉眞編著. - 東京 : おうふう , 2009.８. -(おうふう政治ライブラリー)	本館・開架・教員著作
岸　玲子	医学研究科	「人間らしい労働」と「生活の質」の調和 : 働き方の新しい制度設計を考える / 第81回日本産業衛生学会企画運営委員会編集. - 川崎 : 労働科学研究所出版部 , 2009.３.	本館・開架・教員著作 北図書館・開架・一般図書
		介護予防 : 日本と北欧の戦略 / 笹谷春美, 岸玲子, 太田貞司編著. - 東京 : 光生館 , 2009.８.	本館・開架・教員著作 北図書館・開架・一般図書

ご恵贈誠にありがとうございました。

図書館では本学教員が執筆した図書を収集しています。新たに本を出版される際には，是非ご恵贈くださるようご協力お願い致します。また，北京大学図書館との相互交流および協力に関する覚書の締結に基づき，北京大学との交換用にもう１冊分，ご寄贈いただきますようご協力をお願い致します。とりまとめは，附属図書館で行います。

学術成果コレクション（HUSCAP）寄贈文献

（平成21年６月18日～平成21年９月30日）

148名の研究者の方から，328件の文献をご寄贈いただきました。
また，新たに13研究科等の16タイトルの紀要（文献353件）を公開しました。
HUSCAPについて詳しくは，http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/ をご覧ください。

ご恵贈誠にありがとうございました。図書館では本学教員が執筆した著作の原稿ファイルを収集し，HUSCAPにて保存・公開しています。新たに論文等を発表された際には，是非ご恵贈くださるようご協力お願い致します。
ファイルは，repo@lib.hokudai.ac.jp宛にメールでお送りいただくだけで結構です。



HUSCAP 300万回ダウンロード突破！

平成21年10月５日に，HUSCAPに収録されている文献のダウンロード回数が，平成17年７月の学外試験公開から起算して，300万回に達しました。300万回目に閲覧された文献は，当時工学研究科に在籍されていた福田昭治先生（平成17年度に情報科学研究科を定年退職）らが学術雑誌に発表された，次の論文でした。

Fukuda, S., Matsumoto, Y., Sagawa, A.
Optimal-regulator-based control of NPC boost rectifiers for unity power factor and reduced neutral-point-potential variations.
IEEE Transactions on Industrial Electronics. 1999, Vol. 46, No. 3, pp. 527-534.
（http://hdl.handle.net/2115/5718）

附属図書館は，今後とも本学所属研究者の研究成果等の公開により一層努めてまいります。ご著作をより多くの人々に届けるため，論文等のHUSCAPへの登録を，よろしくお願いいたします。

（学術システム課）

楡　　蔭(北大図書館報)

資料紹介

平成21年度特別図書購入費による購入資料（1）

特別図書購入費は，人文社会科学系の大学院における教育研究に必要な基本的図書資料を整備充実することを目的とした経費です。文学・法学・経済学各研究科，教育学院，国際広報メディア・観光学院，公共政策大学院に資料の選定をお願いした結果，今年度の購入資料が決定しましたのでお知らせします。ご協力まことにありがとうございました。これらの資料は，納品され，整理が済み次第，順次，本館の書庫に配置します。

今年度は，目的積立金も活用し，例年よりも多くの図書を購入することができました。紙幅の関係がありますので，2回に分けて購入図書を紹介します。

（洋書）

● **Animal Behaviour (The Sage Library in Cognitive and Experimental Psychology)（全4巻）(動物の行動) Sage 2009.10**

第1のテーマは，動物の“こころ”の仕組みである。ヒト以外の動物も，物体の色，形，数を認識し，他個体を信用したり騙したりする。動物がどのような“こころ”を持っているのかを，心理学の立場で解明する。

第2のテーマは，動物の“こころ”がどのようにヒトの“こころ”に進化したのかである。ヒトと動物の“こころ”を比較し，類似点・相違点を明らかにすることで，“こころ”の進化を解明する。

本書は2つのテーマに沿い，規範的，批判的，現代的な論文の中から特にインパクトの高い論文を厳選したものである。

● **Monatsschrift fÜr Kriminologie und Strafrechtsreform vol. 27-35 (1936-1944)（犯罪の及び刑法改正研究誌）J. F. Lehmanns,**

本誌は1904年の創刊より，途中誌名の変更を経ながらも100年以上の歴史を持つ学術雑誌であり，犯罪学と犯罪者を社会的，心理学的，精神病理学的といった幅広い見地から論じている。

また，刑罰や犯罪対策などを分析し，判決や法改正といった法的メソッドだけでなく，実社会にも大きな影響を及ぼしているものである。

● **Conceptual Origins of Malthus's 'Essay on Population'**
（マルサス人口論の源泉 17-18世紀文献復刻集成）Eureka Press, 2006.7

トーマス・ロバート・マルサスが『人口論』執筆の際，着想の源とした書物から，その重要性にかかわらずこれまで復刻の機会が無く，特に入手しがたい諸著作を収録している。

収録されている文献は，次のとおりである。

第1巻：ヘール『人類の原始的起源』
第2巻：アーサー・ヤング『北部旅行記』『東部旅行記』より(抜粋)
『平易に述べられた食料不足問題と救済案』
第3-5巻 ： タウンゼット『スペイン旅行』
第6巻：ブルクナー『動物組織の理論』
アンダーソン『英国における現下の食料不足をもたらした諸事情の洞察』
ブース『牧師T.R.マルサスへの書簡』

● **International Encyclopedia of the Social Sciences. 2nd ed.**
（社会科学国際百科事典 第2版 全9巻）Macmillan Reference USA, 2008

Encyclopedia of Social Science（1930－35）とInternational Encyclopedia of the Social Sciences（1968－80）を統合した初版に，社会科学における最新の成果を加え，新たに書き直したもの。本事典は，社会科学の中でも特に経済学に焦点を当てたものであるが，その他にも，種々の社会問題や環境問題，社会運動や重要な事件，主要な学説などについても詳しく解説されており，法学，政治学，社会学，人類学，心理学など，社会科学分野全般の研究者・学生に不可欠の事典である。

● **International and National Water law and Policy Series, Series 3,6,7**
（国際および国内河川法・政策，シリーズ3，6，7）Martinus Nijhof, 2001.8-2002.11

国際河川法に関する重要な資料および研究を集録した全8巻本のうち，本学図書館が所蔵していない3つの巻。

1．『シリーズ3 ：チグリス・ユーフラテス河流域の水資源レジームの構築』
水資源に関する国際紛争が頻発するチグリス・ユーフラテス河流域における国際管理制度の構築について論じる。

2．『シリーズ６：水プロジェクト - 商業および契約に関する解説』
水関連プロジェクトの商業および契約上の諸問題を扱う。
3．『シリーズ７：水資源法および行政の原則 - 国内および国際』
国際および国内における河川法と行政の原則について論じる。

● **The Lives of the Most Eminent British Painters, Sculptors, and Architect (英国美術家列伝　全6巻及び別冊日本語解説) Euraka Press, 2009.10**

19世紀に出版されたイギリスの美術家の伝記集。16世紀以来イタリア，フランドルなど各国・各地域で刊行されてきた御当地芸術家を称えるナショナリズムの色合いの強いもので，美術後進国であったイギリスが世界の大英帝国に変身してゆく時期に，自国の文化伝統の優位をいかに示そうとしていたかを知ることのできる文化・政治的な観点から興味深い本である。

ヨーロッパ美術史の基本文献のひとつであり，英国美術を研究する上で欠くことのできないものである。またロマン主義文学の興隆期に著されたものであり，英文学やイギリスの文化研究など，隣接分野の研究にも有益である。

● **Principles, Definitions and Models Rules of European Private Law: Draft Common Frame of Reference (DCFR) Sellier European Law Pub., 2009.10 (ヨーロッパ私法の原理，定義，モデル規則-共通参照枠草案　全６巻)**

ヨーロッパ私法の泰斗，フォン・バール教授らの編集になる，いわゆる「共通参照枠」に関する草案である。すなわち，現在，ヨーロッパでは，私法（特に民法）に関して統一法を作る動きがあるが，そのための基礎的な資料として，現在，各国で妥当としている私法を正確に描写し，どこが同じで，どこが違うかを確定する必要がある。

そして，そのような基礎的な作業を集大成したのが本書であり，上記のようなヨーロッパの法統一に対しては，懐疑的な立場もあるが，しかし，そのような立場からしても，各国の法的状況を克明に記している本書に対しては高い評価が与えられている。領域的にも，特に民法の全範囲をカバーしており，第一級の資料的価値を有する全集である。

● **Reconstruction in Europe　Apr. 1922-Jan.1923 ; Vol. 1 - Vol. 3 (Nos.1-12) (ヨーロッパの再建)Manchester Guardian Commercial, 2008.12**

ケインズの代表作の一つである『貨幣改革論』1923年の底本となる論文を含む。ケイ

ンズが1920年代初頭におけるヨーロッパの経済問題について『マンチェスター・ガーディアン』紙上で展開した論文を集めたもの。この中には，ピグー，スラッファ，ウェッブ，ロバートソン，フィッシャーなどの経済学者の他に，後の首相アスキス，マクドナルド，また，哲学者クローチェなどの論文も含まれており，1920年代の経済的困難に対し，ヨーロッパの知性がどのように取り組もうとしていたのかを知りうる第一級の資料である。

● **Takeovers and Freezeouts 7 vol.s 1978 to date**
（企業買収とフリーズアウト 全７巻） Law Journal Press, c1978

ポイズン・ピルの発案者であり，米国におけるM＆A法務を長年牽引してきたリプトン弁護士による定評ある解説書。LBO，TOB，合併，資本の再構成，非公開化，リストラクチャリング，スピン・オフ，委任状争奪戦などの多様な取引に関して，買収企業と買収対象企業の双方の観点から実務上の方策を詳述している。定款例や書式例などの参考資料も豊富に収録している。

（主な内容）
敵対的買収を友好的取引へと導く戦略。取締役員の行動規範。敵対的買収の防御策。連邦・州の法的枠組み。NYSE・NASDAQ・AMEX による規則。TOB やその申出への対応。委任状争奪戦と機関投資家の行動。ハート・スコット・ロディノ法の下の事前届出。税務・会計上の留意点，他。

● **Women and Religion: Critical Concepts in Religious Studies**
（女性と宗教：宗教学の重要概念　全４巻） Routledge 2009.6

「女性と宗教」をテーマとする研究文献を全4巻に集成した資料。
宗教学と女性学の接点を開くものであり，同時に哲学，社会学，心理学など関連分野の研究者にも興味深いもの。テーマ別に構成された各巻に女性と宗教の研究において中心的な諸概念を解説。各文献の解説も行っている。収録文献は理論的議論とともに，世界の具体的な宗教現象の研究も集められている。

● **Детская иллюстрированная книга в истории России, 1881-1939: В 2 томах. WAM, 2009.9**
(ロシア絵本の歴史1881－1939年:全2巻)

1881年から1939年までに刊行された500冊のロシア絵本から1800点の図版を収録した2巻からなる図版集。あわせて絵本画家190人の経歴も掲載する。ロシア絵本の歴史をたどる書物の刊行は近年始まったばかりだが，ロシアでこれほど大規模な資料集が刊行されるのはおそらく初めてのことである。

● **Марр Н.Я. Избранные работы. В 5т. Наука, 1977**
(マール論文集　全5巻)

マールはスターリンの庇護のもと，独自の理論を展開した言語学者だが，スターリンの批判で葬り去られた。
最近になって言語類型学で再評価が高まっている。

(和書，中国書)

● **朝日新聞　外地版　第5回配本　全9巻　ゆまに書房, 2009.5**

朝日新聞社が，台湾，朝鮮，満州国などの読者を主な対象として発刊した『(大阪)朝日新聞』の「外地版」を集成復刻したもの。「外地版」が発行された1935～45年のほぼ全期間を収録する。　1940年(第5回配本)は「台湾版」「南鮮版A・B」「西鮮版」「北鮮版」「中鮮版」「北支版」「中支版」「満州版」の全9冊からなる。
戦時期の植民地・占領地における人々の日常生活や文化の様態や報道のありようを具体的にうかがうことのできる第一級の資料であり，日本史，アジア史，あるいはメディア史，社会史，文化史などの幅広い領域の研究課題や問題関心に応える価値をもつ資料である。

● **大阪銀行通信録(明治期)31巻-60巻　不二出版, 1993.5-1995.1**

『銀行報告誌』並びに『大阪銀行通信録』(復刻版では『大阪銀行通信録』のタイトルで統一)は，明治23年3月に創刊し，昭和17年3月の金融団体統制令により廃刊を余議なくされるまでの間，大阪同盟銀行集会所(のちに大阪銀行集会所に改組。現在の社

団法人大阪銀行協会の前身）より発行されていた機関誌である。

当時の大阪を中心とする関西諸地域，並びに西日本各地における近代金融経済の動向を知る上での第一級の重要資料である。

● 乾隆得勝図　平定西域戦図　臨川書店, 2009.7

18世紀，清朝乾隆帝統治下に辺境制圧のために行われた大規模な遠征のもようを宮廷画家カスティリオーネらに描かせ，それをフランスに送り作成した銅版画を原寸大で複製したもの。

当時の中国辺境地域のありさまを一級の芸術家の作品を通して知ることができるもので，中国歴史文化研究，東西文化交流史研究，表象芸術研究などの諸分野においても貴重な資料である。

今日伝存は極めて少なく，本資料はロシア科学アカデミー東洋写本研究所所蔵品などによる。

● 甲骨文校釋總集　1－20　清装　上海辞書出版，2006.12

多くの学者が10年をかけて編纂した＜甲骨文校釋總集≫は，商代の甲骨文に全面的な整理・研究を加え，今後の甲骨文研究の礎となる画期的な著述であり，その特徴は，下記の３つの方面に帰納することができる。

１．資料の完全性。本書の校釈は「甲骨文合集」「甲骨文合集補編」「小屯南地甲骨」「英国所蔵甲骨集」「東京大学東洋文化研究所所蔵甲骨文字」「懐特氏等収蔵甲骨文集」「天理大学付属天理参考館甲骨文字」「蘇徳美日所見甲骨集」及び新しく刊行された「殷墟花園庄東地甲骨」など９種の著述に収録されている約６・５万片の甲骨をもとに行われたため，現存の甲骨を殆ど網羅している。

２．考釈の精確性。刊行された甲骨文の拓本及び各大家の釈文に基づき，学術界の新しい研究成果を参照し，字・片ごとに改めて考釈を行ったため「甲骨文合集」と「甲骨文合集補編」の従来の釈文を大きく変更することになり，それは全釈文の30％に当たる。

３．体裁の独創性。コンピュータ文字で隷定字と甲骨字を統一し，「甲骨文合集補編」の来源表及び蔡哲茂の「甲骨綴合集」と「甲骨綴合続集」の綴合資料を活用し，上述の９種の著述の重片と綴合された甲骨を整理し，番号をつけ，研究者に利便を提供する。

● 戦後農村問題資料集　Ⅰ　農村青年通信講座　第2回配本　全6巻　別冊1
日本図書センター, 2008.5

戦後，長野県の農村青年学習用テキストとして創刊された『農村青年通信講座』第1号（昭和23年4月）～終刊号の122号（昭和34年5月）。

各号，農業・社会・経済・家庭の分野の他，小説・詩・戯曲などの文芸作品も掲載。執筆者は，東京帝大系の学者や実務者など多数。また，一般受講生なども出稿。

昭和20～30年代にかけて，地方における農村学習文化運動がどのように行われたか，その運動史研究にとって最良の資料。

長野県の青年運動は，日本の社会教育実践の原動力を形成したが，その実態に迫る資料である。

● 朝鮮関係写真資料集　第一期「朝鮮絵葉書集」「韓国写真帖」「朝鮮博覧会記念写真帖」
ニチマイ, 2008.3-

元朝鮮総督の斎藤実が残した朝鮮関係の写真類を四期に分けて刊行する計画のうちの，第一期分である。

第一期分は，① 428 枚の絵葉書から成る「朝鮮絵葉書集」，②韓国総督府が1910年7月に非売品で刊行した『韓国写真帖』，③朝鮮総督府が1930年3月に刊行した『朝鮮博覧会記念写真帖』である。

● 中国大百科全書・第二版（全32冊） 中国大百科全書出版社, 2009.3

人文科学，社会科学，自然科学を問わず，中国に関するあらゆる分野の研究において，基礎的情報を得るために不可欠な百科事典である。

30年ぶりの全面修訂版。第一版とは項目・内容ともに大幅に変更。最新の研究，成果を踏まえた記述となっている。

検索もジャンル毎から，ピンイン順配列となり，至便性が高まった。図版がフルカラーとなり，視覚的情報も大幅にアップいており，見るだけでも楽しめる。

● 天皇皇族実録　第Ⅰ期　全37巻　ゆまに書房, 2006.9

近世歴代（106代，正親町～孝明）天皇の事跡を旧宮内省図書寮が編年体で編纂した史料集。昭和11年（1936）年に脱稿，1944年に完成・印刷されたが，天皇はじめ関係者に配付されたのみに止まっていた。

本書はその復刻版。女帝2人（明正，後桜町）を含む近世の天皇の動静を活字史料により精緻に伺うことができる本書は，特に「大日本史料」が未刊行の時代（明正～孝明）の朝廷に関する最も優れた史料集となっている。

● 日本近代教育史料体系（復刻版）　第Ⅰ期　公文記録　1
第1回～第3回配本　全35巻　附3巻　龍渓書房, 1994.1

明治維新以後の日本近代教育史は「遅れたアジア社会」の一員だった日本を「欧米並み」に近づけるという明治国家の基本路線に沿って，国家権力側の強力なリーダーシップの下に形成の歩みを続けてきた。本資料は旧国立教育研究所日本教育史研究部門で編纂された「日本近代教育百年史」において調査，収集，整理された国家の教育政策・行政に関する公文書史料の集大成である。単に実定法の羅列ではなく，法令の起草，起案，成文の過程を開示しており，近代日本における権力主体の教育理念の選択のプロセスを科学的に解明する道を開くものである。

● パレスチナ1948･NAKBA アーカイブス版　DVD　全30巻　広河事務所, 2008.11

フォトジャーナリストである広河隆一が40年にわたり取材を続けてきた記録映画の集大成であり，パレスチナ問題，中東情勢を映像で理解できる貴重な資料である。

NAKBA(大惨事)とは，60年前にイスラエルが誕生し，大量のパレスチナ難民が発生した。この事件のことをパレスチナ人はNAKBA(大惨事)と呼んでいる。



会議（平成21年７月17日～10月31日）

【学　内】

◎図書選定小委員会

〇平成21年度第１回〈７月23日(木)〉

◎学術成果発信小委員会

〇平成21年度第１回〈７月29日(水)〉

【学　外】

◎第83次国立七大学附属図書館協議会及び第８回国立七大学附属図書館長会議並びに第42回国立七大学附属図書館事務部課長会議〈10月23日(金)〉（東北大学）

◎北海道地区大学図書館協議会

〇第52回図書館職員研究集会〈８月21日(金)〉（北海道文教大学）

〇第59回総会〈８月28日(金)〉（千歳科学技術大学）

各委員会等について

平成21年8月1日より北分館委員会は北図書館委員会と名称が変更となった。

人事往来（平成21年７月17日～10月31日）

平成21年８月１日より利用支援課北分館閲覧担当は利用支援課北図書館担当と名称が変更となった。

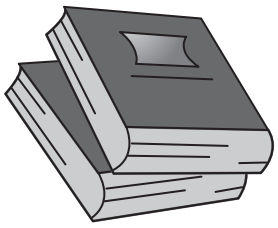
【平成21年８月１日付発令】

宇都宮　輝　夫　附属図書館北図書館長（任期：平成23年３月31日まで）

図書館日誌（平成21年７月17日～平成21年10月16日）

月日	項　　目
７月	
23	平成21年度第１回図書選定小委員会
	北方資料室見学（高麗大学校師範大学４名）
29	平成21年度第１回学術成果発信小委員会
	図書担当係長連絡会議
31	平成20年度第３回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会
８月	
４－５	学生との座談会（北図書館：両日午後から）
5	図書館連携作業部会（ERDB仕様検討WG）（NII）（管理課）
５－７	平成21年度学術ポータル担当者研修講師（学術システム課）
６-14	図書館実習（藤女子大学２名、武蔵女子短期大学２名）
14	北方資料室見学（トゥルースト氏　デューク大学図書館国際・地域部門長他 １ 名）
21	第52回北海道地区大学図書館職員研究集会（北海道文教大学）
28	産業医職場巡視（本館）
	第59回北海道地区大学図書館協議会総会（千歳科学技術大学）（館長、事務部長、利用支援課長、利用支援課長補佐）
	平成20年度第3回北海道地区大学図書館協議会幹事館会議
９月	
１－４	情報処理軽井沢セミナー（NII国際高等セミナーハウス）（学術システム課）
7	DRF技術ワークショップ（京都大学）（学術システム課）
8	SPARC Japanセミナー（京都大学）（学術システム課）
	図書館連携作業部会WG1（NII）（学術システム課）
9-11	平成21年度学術ポータル担当者研修講師（NII）（学術システム課）

月日	項　　目
10-11	第41回国連寄託図書館年次会議（東京）（利用支援課）
	平成21年度（第51回）北海道図書館大会（札幌）（利用支援課）
11	平成21年度第２回楡蔭編集委員会
13	本館・北図書館閉館（全学停電のため）
14	国立大学図書館協会学術情報委員会学術機関リポジトリWG（名古屋大学）（学術システム課長）
	図書館見学（下間文部科学省学生・留学生課長）
16	平成21年度第４回ホームページ委員会
	図書館見学（枝文部科学省学生・留学生課長補佐）
21	図書館年鑑北海道ブロック会議（北海道立図書館）（利用支援課長）
23	NPO法人日本医学図書館協会北海道地区加盟館研修会(旭川)（保健科学研究院）
28-30	高大連携聴講生館内ツアー（北図書館）
10月	
1	図書館連携作業部会WG２（NII）（学術システム課）
2	学位授与機構訪問調査（北図書館ほか）
	ROAT/RVAS/ZSワークショップ （千葉大学）（学術システム課）
	平成20年度第４回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会
7－9	第3回目録システム講習会（雑誌コース）（NII）（管理課）
7-10	DRF技術ワークショップ（NII軽井沢セミナーハウス）（学術システム課）
13	WoS講習会（農学研究院、医学研究科）（リテラシ・調査支援）
14	WoS講習会（附属図書館）（リテラシ・調査支援）
16	平成21年度北海道大学附属図書館講演会（大会議室）



北海道大学附属図書館報「楡蔭」(ゆいん)　**第133号**　平成21年11月30日発行

〈編　集〉　「楡蔭」編集委員会

〈発　行〉　北海道大学附属図書館　〒060-0808　札幌市北区北８条西５丁目
TEL ： 011-706-2967　FAX ： 011-747-2855　ホームページ　http://www.lib.hokudai.ac.jp